

## 記 録

### 第三回關西連合保育會

#### 研究協議會

標題の協議會が十月二十九日(土)神戸市灘區觀音山の神戸高等學校に開かれた。震災をまぬがれた立派な校舎の正門前に廣く設けられた受付に、つどふ若人達の忙しそうな情景も保育會でなければながめられぬ明るい時代を感じられ、大會場に當てられた大講堂の廣さも凡そ二千の保育關係者で些か陝隘を感ずる位であつた。配布された部厚な協議會案内には、二十年から四十餘年もの永い勤続者名四十一名の記録がのせられてあり、つゞいて當日のプログラムに、協議内容が詳しく記されて實に參會者の興味をわき起した事と思ふ。ことに午後から行われる十四分團に分れた分團研究一覽表には、保育理論、内容は勿論幼児の日常の細々した點にまで研究的な取り扱ひの結果が發表されているので、どの分團に加はるべきか、しばし決しかねていた事は私ばかりではないと思ふ。貴重な時間を何の分團に參加すべきか……廣い校舎の内外に三々五々打ちつれて晝食にくつろいだ折に決定されたものか十

四の協議會場に急ぐ保育研究者のグループの力づよい意氣に打たれて私も八分團研究協議會場に仲間入りした。あの有名な「明石プラン」に體系づけられた明石幼稚園の御研究を興味深く伺つて今回の列席を一層嬉しく思つた。研究一覽表にある題目を記して御參考に供したいと思ふ。(東京・山村記)

#### 分團研究題目

- 一(1)クレットペリン検査による氣質 2(精神發達) 二(3)才能教育の可否 4(中心興味) 三(5)公立園の宗教的情操涵養 6(責任觀を養ふ方法) 四(7)遊具の活用 8(ハッピーフレンド教育) 五(9)道義性を培ふ具體案 10(社會性を基調とした躰) 六(11)創造性開發具體案) 七(12)たのしい幼稚園 13(自然に對する本能の取扱) 八(14)カリキュラム 15(五日制) 九(16)幼児保育の重大性の社會輿論 17(幼稚園教育の重大性を社會に 18(幼稚園と保育所の幼児の同待遇) 十(19)PTAの活動の在り方) 十一(20)躰の反省と今後の考慮點 21(家庭と連絡しての日常躰の標準) 十二(22)健全な精神力と體力ある教育者の養成 23(各府縣二幼児教育研究所をおく) 24(保育用具の免税と配給) 十三(25)日本に於ける民主教育の徹底化 26(新しい保育所の在り方) 27(幼児と結核) 十四(28)幼稚園入園の希望を達し得なかつた幼児の生活指導について 29(衛生施設と養護教諭設置)

#### 中國保育連合會發會

秋の宮島——紅葉には少し早い、彌山はところどころ黄色を帯びている。十月三十日、三十一日中國地區保育連合會の結成大會が、宮島小學校講堂で開かれた。

鳥取、島根、岡山、廣島、山口の五縣の保育者約七百名が集つての盛典である。

三十日午前八時から受付が開始され、續々とつめかける保育者の群が、連絡船がつくたびに一團となつて会場へつめかける。

九時すぎ開會、經過報告の後、中國保育連合會々則が上程され、修正なしに萬場一致を以て可決、役員選出、各縣より理事二名を選出することとなり、縣別にその選出をした。

全國保育連合會長倉橋惣三先生の祝辭を坂元彦太郎副會長が代讀し、知事市長等の祝辭があつた。内山憲尙事務局長の祝辭を兼ねた挨拶があつて十一時半式を終る。

午後は一時から廣島大學の長田新博士の「フレイベルに歸れ」と云う講演あり。保育は子供を知り、子供を生かし、自然の中に伸ばさなければならぬ、即ちフレイベルの保育を再認識して、フレイベルへ一度歸ることが新しい保育であると説かれて二時間の有意義な記念を終へられた。

閉會式は三時から講演に續いてなされ、青柳美智代事務局次長の挨拶があつて第一日を無事終了。

第二日目の三十一日は見學である。宮島口に三臺の自動車待機している。五日市町の鈴峯園から廣島戰災兒童成所を見る。整頓された部屋、よく清掃された居室、あかるい施設であつた。精神薄弱兒を收容する六方學園では恰度運動會當日で、子供たちが、嬉々として遊戯や競争をやつてゐる。田中園長から話を承り、廣島印刷株式會社の社内を見學して、

原爆中心地や兒童會館等を見て、一日の意義ある見學を終つた。(全保連事務局)

## 福井縣保育連盟大會

福井縣の保育連盟は昨年結成されて以來次第に數の増加を示して來て、幼稚園四十園、保育所三十數園となつた。今後益々増加の一途をたどりつゝあることは誠にうれしいことである。

質的面の向上を計るために、十一月二十一日總會を兼ねて研究會と、講演會とを神明幼稚園において開いた。九時から十時まで研究の保育參觀、神明幼稚園の保育を參觀する。カリキュラムを立つての熱心な保育である。續いて十時から研究發表に移り「リズムの指導と體驗」について久保久子教諭「子どものあそびについて」馬場美智子教諭の發表あり、共に體驗を中心として今日の研究保育に結びつけた發表であつた。何れも立派なもので松村伊佐武氏の指導のよさと各教諭の熱意がよく現れていた。十時五十分から研究討論に入る。村田明頼氏が座長となつて、研究發表や保育參觀についてのデスカッションあり、最初は一寸遠慮氣味であつたが、次第に活潑になつて來た。然し時間の關係で十二時になつたので一應切り上げて臨時總會に移る。松田民生部長の挨拶あり、野村榮太郎現會長が座長となつて會則變更其他が議された。

午後一時より三時半まで内山憲尙氏の「新保育の理念と實踐」と題して明快なる講義を承る。保育の基礎から説き起し